

今野 貴子（この たかこ／メゾソプラノ・司会・企画構成）



東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、大学院応用音楽学（音楽療法）修了。東京藝術大学、東京立正短期大学非常勤講師、日本音楽療法学会会員。

音楽療法の考え方を活かして、子どもの個性や発達段階に寄り添った音楽活動を実践し、障害の有無にかかわらず、子どもの自己表現や発達全般を促す方法論について研究をおこなっている。

「おとあそび♪音楽隊」リーダーとして企画・出演している数々のコンサートは、音楽のクオリティの高さや誰もが楽しめる内容が好評を博している。

未就学児や障害児者を対象とした音楽活動に加え、教育委員会や障害児関連施設等と協力し、コンサートや職員を対象とした研修をおこなうほか、保育関連雑誌にも寄稿している。

木村 聡（きむら さとし／バリトン）



愛知県名古屋市出身。オペラ歌手。東京藝術大学卒業、同大学院修了。

2010年度 A・コルツァーニ国際イタリア声楽コンクール(日本会場)優勝により、同年ブドリオ市立コンソルツィオ劇場にて欧州デビュー。2012年度より、同コンクール(日本会場)審査員。

オペラ《リゴレット》タイトルロールをはじめ、《椿姫》《蝶々夫人》《魔笛》《メリーウィドウ》《しづく柳》《泣いた赤鬼》など40役以上のレパートリーを持つ。ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」など宗教曲のソリストとしても活躍。2009年度より2013年度までNHK全国学校音楽コンクール審査員。現在、日本・イタリアオペラ座副監督。ミュージカル公演の音楽監督も務める。

永野 仁美（ながの ひとみ／打楽器）



東京都出身。3歳より打楽器を始める。東京藝術大学卒業、同大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞を受賞。これまでに、マリンバ・打楽器を藤本隆文、故岡田真理子、神谷百子、石井喜久子、ピアノを蓼沼恵美子の各氏に師事。

2007年、第12回KOBEL国際学生音楽コンクール奨励賞受賞。2012年、第7回安倍圭子国際マリンバアカデミーを受講、選抜者によるプレミアムコンサートに出演。2012-2014年、東京芸術大学内においてオーディション選考による室内楽定期演奏会及び木曜コンサートに出演（打楽器三重奏として）。2014年、万里の長城杯入賞。2016年および2020年、現代音楽コンクール「競楽」ファイナリスト。

多数の新曲初演を始め、ソロ、アンサンブル、演劇、レコーディングやライブなどさまざまな形態・ジャンルで演奏活動を行う他、訪問演奏や音楽教室、吹奏楽部の指導、音楽療法のアシストなど、教育や福祉に関わる音楽活動を精力的に行う。パーカッショングループ「あんさんぶる りずむふぁーむ」、パーカッションデュオ「カメハ」、ピアノ・フルート・チェロ・打楽器のカルテット「The Circle」メンバー。

飯田 俊明（いいだ としあき／ピアノ・作編曲）



クラシカルクロスオーバーを軸に、多彩なジャンルで活動。多くのオペラ歌手や、岡本知高、田代万里生、中島啓江、はいだしょうこ、平原綾香、ミネハハ、ホリプロ、劇団四季、宝塚歌劇団、口笛の柴田晶子など多彩なジャンルを演奏編曲両面からサポート。朗読コラボも多く、山根基世、進藤晶子、松平定知らアナウンサーや、中村獅童、二木てるみらと共演。音源制作では六本木ヒルズ時報、愛知万博などパピリオン、CD、TV、ゲーム、安藤美姫アイスショーなどに作品提供。

最近の制作には、NHKドキュメンタリー「沁みる夜汽車」音楽、NHKドラマ「生きて再び」音楽、ホリプロミュージカル60周年記念CD、伍代夏子ドラマCDなどがある。

PTNAコンペティションDuo特級最優秀賞受賞。東京立正短大特任教授。

監修 畑 瞬一郎（はた しゅんいちろう）

東京藝術大学音楽学部教授。

1994年に東京藝術大学に赴任。2005年より東京藝術大学音楽学部教授。イタリア文学文化研究と並行して、幼児、小学生、障害児者との音楽活動を行っている。

「おとあそび親子教室（公開講座）」主宰、「東京藝術大学音楽療法研究会」主宰、「ふなばし音楽療法の会」共同主宰。